

学校だより



# 平沼

横浜市立平沼小学校

平成29年 6月30日

URL : <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/sch/es/hiranuma/index.htm>

## 中学生棋士 藤井聡太四段のように

校長 小西俊光

「藤井四段29連勝」「30年ぶり新記録」「14歳 驚異の終盤力」

6月27日、新聞第1面に載った大きな見出しが目に飛び込んできました。6月26日夜、中学生棋士 藤井聡太四段が竜王戦決勝トーナメントの対局に勝ち、史上単独1位となる公式戦29連勝を達成しました。私の家でとっている新聞は32面中5面が藤井四段に関する記事でした。どの記事を読んでも藤井四段の偉業を称える内容でした。

新聞記事の中に藤井四段の対局後のコメントが次のように書かれていました。

「途中、苦しくしてしまっただが、何とか（相手陣に）食い付いた。最後の最後までわからなかった。（新記録達成は）自分でも信じられない。非常に幸運だった。次の相手も強敵なので、教わる気持ちで全力でぶつかりたい。」（6月27日朝日新聞より引用）

このコメントから、謙虚で誠実な藤井四段の人柄がうかがえます。私はこのコメントの中の「何とか食い付いた」というコメントに藤井四段の凄味を感じました。対局相手の増田四段の厳しい攻めに対して、これまでの経験や持てる知識を総動員させ、自分の勝利の可能性を最後まで信じて粘る藤井四段の強い意志が感じられる言葉だったからです。このような粘り強さと強い意志は、藤井四段の「将棋が強くなりたいという思いの深さ」「豊富な練習量」「勝負に負けて感じた悔しさ」「師匠や対戦相手から学んだことを活かして将棋を指すことができる能力」「家族や仲間からの応援」…などから生まれたものなのではないでしょうか。

本校の子どもたちも日々成長し続けています。子どもたちは今年度スタートのときより、たくましくなっています。「藤井四段29連勝」の新聞記事を読んで、本校の子どもたちも藤井四段のように、自分の目標に向かって粘り強く突き進んでいける強い意志をもった人になってほしいと強く思いました。これからも学校・保護者・地域の皆様とともに子どもたちを育てていきたいと思えます。ご支援ご協力のほど宜しくお願いいたします。

### 1年3組・2年2組の新担任の紹介

1年3組担任の川崎さなえ教諭が6月19日から産休に入ったため、これまで1年3組体育講師を担当していた矢島冬吾教諭が1年3組の担任になりました。また、2年2組担任の西井千草教諭も7月13日より産休入るため、これまで2年2組体育講師を担当していた開愛教諭が2年2組の担任になります。1年生と2年生の保護者の皆様へは事前にお知らせしておりましたが、今回の学校だよりで全校の皆様・地域の皆様にお知らせさせていただきます。